

BPT026-P06

会場:コンベンションホール

時間:5月24日 10:30-13:00

北海道産中新世アロデスムス(鰭脚類・食肉目)化石の骨盤からみた古生態復元 Paleoecological reconstruction for Miocene Allodesmus (pinnipeds, Carnivora) from Hokkaido

大塚 健斗^{1*}, 仲谷 英夫¹
Kento Otsuka^{1*}, Hideo Nakaya¹

¹ 鹿児島大院・理工・地球環境

¹Dept. Earth & Environ. Sci., Kagoshima U

哺乳類化石から性別を判定する試みは、食肉類では特に犬歯や陰茎骨の有無などで行われてきた。ここでは、北海道浦幌町産、中新世食肉類鰭脚類アロデスムス化石の骨学的記載を行ない、性別の判定を行った。本標本はほぼ全身の骨格が残っており、その保存も良いが、犬歯や陰茎骨を欠いており、性別の判定は困難であった。現生鰭脚類の後肢骨、特に骨盤の形態に見られる性差を抽出し、それらとの比較を通じて、性別の判定を試みた。この結果、計測値と画像解析をもとに性差の解析を行ない、現生鰭脚類に見られた性差を化石標本でも確認し、本標本はオスであると推定した。

キーワード: 中新世, 北海道, アロデスムス, 鰭脚類, 古生態

Keywords: Miocene, Hokkaido, Allodesmus, pinnipeds, Paleoenvironment